

平成27年11月12日

# 風は東から

To be continued...

新人戦まで**10日**を切る…。

今週末の**TRM**でメンバーが決まる！！

**新人戦に向けて準備は順調！！**

**今週末の二連戦(VS 松が谷、農大一)が最後の闘いとなる！！**

中間考査終了後、早速**TRM**を行い、新人戦に向けての準備＝闘いがリスタートしました。先週末まで**11**ゲームという超ハードスケジュールで、身体はかなり悲鳴を上げていると思いますが、新チームの立ち上げには必要不可欠な**TR**として、**TRM**を位置付けています。チームの新編成でメンバーもポジションも新たになり、今は「**New 東高スタイル**」を**TRM**で試行錯誤しながら模索しているところです。また、新チームで行われた**TRM**の内容も戦績も一定の成果が見られ、この時期としては合格点といったところではないでしょうか。また、**TRM**を多く組んだおかげで、現在、チームの抱えている問題点も明確に表れ、新人戦までの二週間の**TR**でどこまで修正できるのか…？大会までは時間が限られています。チームの最大の課題でもあるので、目先の勝負のためだけでなく長期的な展望を視野に入れて、じっくり取り組んでいきたいと思えます。一方、攻撃面では今まで以上に「**東高らしさ**」の拘りを持って勝負ができた場面も垣間見られました。東高の攻撃には、イメージの共有によるコンビネーションが「**鍵**」なので、形を作り上げていくのはとても時間のかかる作業ですが、多くの**TRM**を通して、擦り合せていきたいと思えます。

さて、現在、新チームは**52**名ですが、ベンチ入りできるのは**20**名です。強豪校ほどの部員数(**100**名越え)ではありませんが、東高サッカー部でもゲームに出る**11**名に選ばれることは決して容易ではありません。今週末に予定されている**松が谷、農大一高**との**TRM**が、新人戦前最後の二ゲームとなります。つまり、メンバーを決める最後の闘いとなる訳です。子どもたちには、日頃から積み重ねてきた自分の持っている力(**必殺技!!!**)をこの二日間で如何なく発揮して、積極的にアピールして欲しいと思えます。



＜**東高サッカー部**もメンバー争いは**熾烈**！！チーム内での**厳しい競争**が、レベルを引き上げる＞

## 金井氏によるTRが本格的にスタート、チームの課題に挑む！！

日頃、タイムリーで指導に当たって頂いている**金井元希氏**による**TR**が、先週水曜日から本格的にスタートしました。今までは、フィールドテスト後や大会前、合宿中にスケジュールが埋まっている中、時間を作って指導して頂きました。**TR**は斬新的なことも大切ですが、やはり日々コツコツと積み重ねていく継続性が最も大切です。特に、日本サッカー界全般的な課題といえる「**守備の意識**」は、世界のサッカーのスタンダードとどうも価値観がズレているように感じていてチームとしてもこの意識を変えていく必要があります、これから段階を追って真摯に取り組んでいかなければなりません。そこで今回、その基本的な部分のノウハウを持っている金井さんに定期的(毎週水曜日)に指導を依頼しました。どんなにいい指導者の**TR**でも、魔法使いではないので劇的に変わる即効性のものはありません。時間を掛けてじっくり**TR**をしていきたいと思えます。



<東高サッカー部の救世主 金井氏による本格的なTRがスタート！！>

### <After the Game>

先週末、選手権都大会準決勝が行われました。東高の**TRM**もあり、「**駒大高 VS 東久留米総合**」の一ゲームだけ観戦しましたが、まさに「**The 高校サッカー**」…。両チームとも、日頃の**TR**成果を100%ピッチの上で出し切る拮抗した好ゲームとなりました。お互いチャンスがありましたがギリギリの勝負を決めるのは、培われた技術ではなく最後は高校サッカーに対する「**魂**」なんだと感じました。結果は、強靱なフィジカルをベースに徹底されたチームコンセプトを最後まで信じて遂行した駒大高校が、虎の子の一点を守りきり14日(土)の決勝に進出しました。両チームとも**TRM**で日頃お世話になっているだけに複雑な思いですが、最後まで手に汗握る攻防の見られたいゲームでした。東高もいつかは「**聖地；西が丘**」のピッチで躍動できるよう日々精進します！！尚、決勝戦はAブロック「**堀越 VS 駒大高**」、Bブロック「**国学院久我山 VS 帝京**」となりました。



<選手権都大会準決勝は、壮絶な闘いとなり、駒大高に軍配が上がる…>